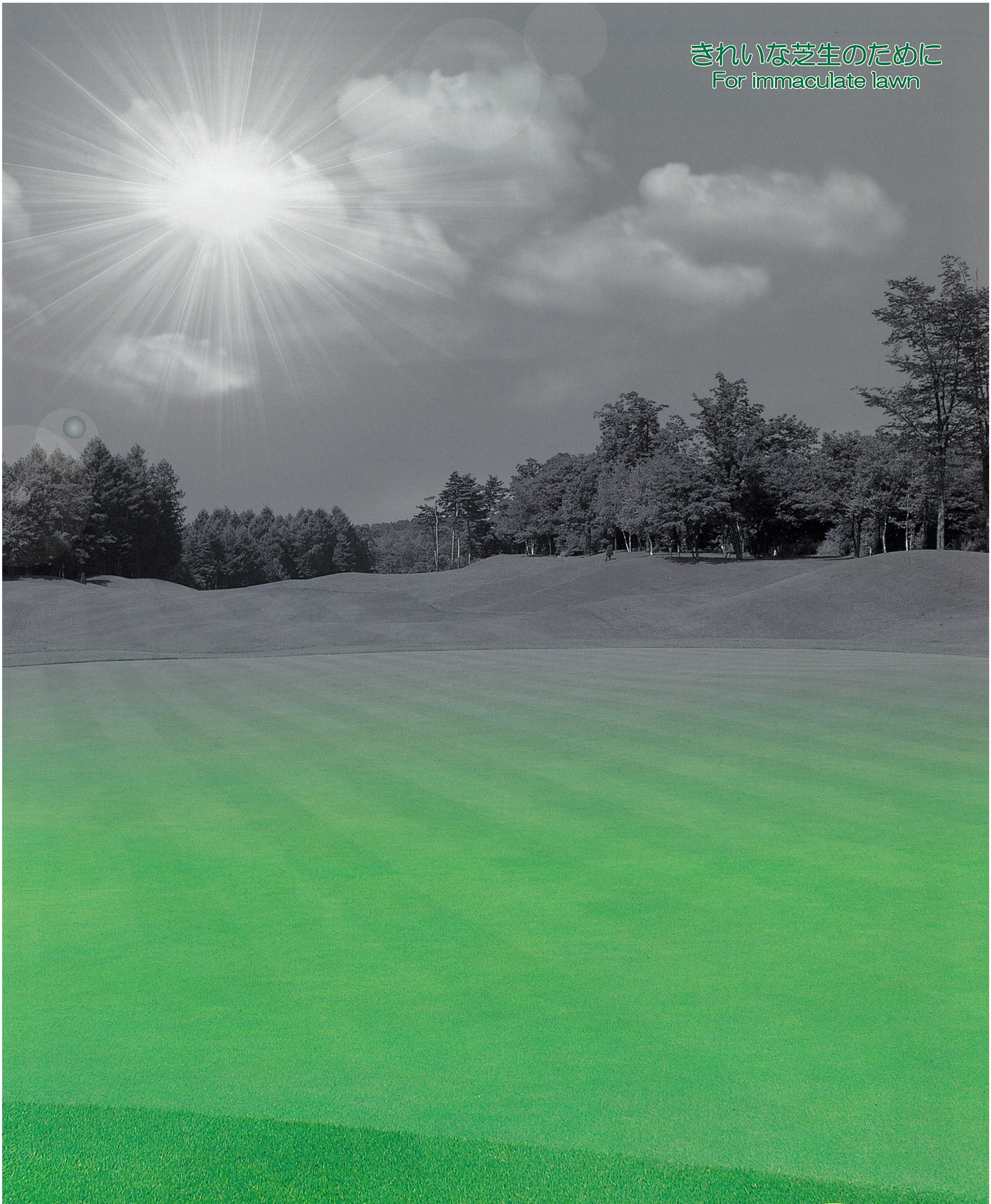
きれいな芝生のために
For immaculate lawn



殺菌剤

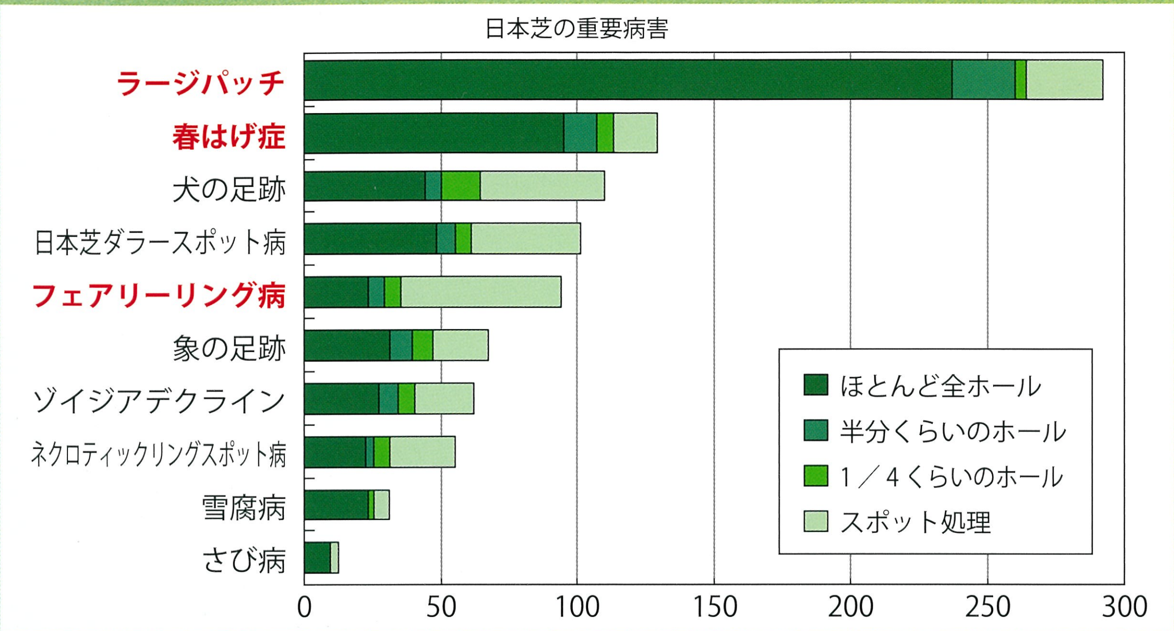
イカルガ®35SC

「秋から春まで」 そして 「春から秋まで」
ラージパッチに残効の長い薬剤です

日本芝の重要病害
葉腐病(ラージパッチ)
疑似葉腐病(春はげ症)
フェアリーリング病
防除薬剤

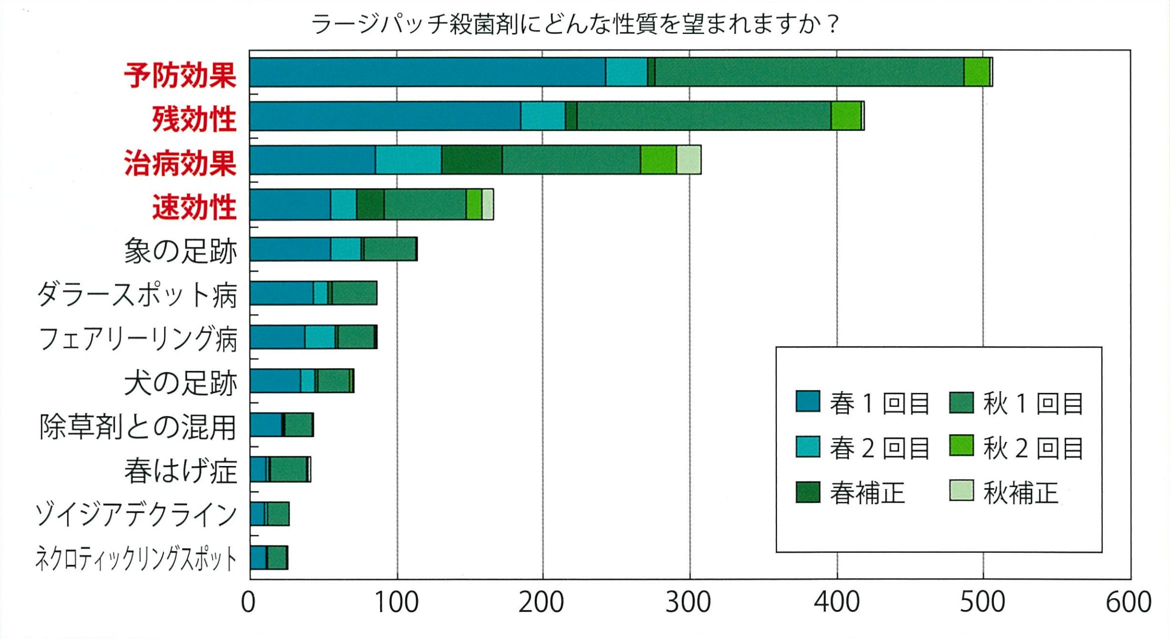
日産化学によるアンケート調査（2013 年）

日本芝に発生している病害を教えて下さい。



日本芝に最も重要な病害はラージパッチであり、2 番目は春はげ症でした。
イカルガ 35SC はこれら 2 つの病害に有効です。さらにフェアリーリング病にも効果があります。

ラージパッチ殺菌剤にどんな性質を望まれますか？

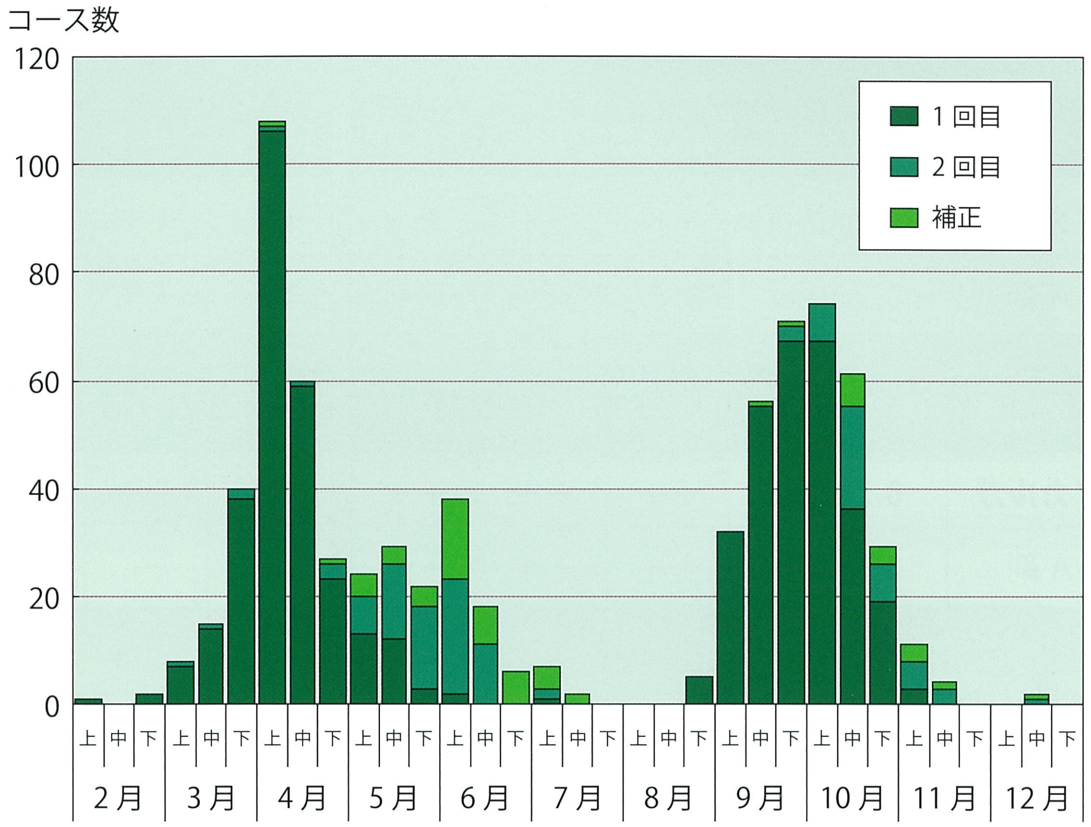


ラージパッチ防除に使用する殺菌剤に望まれる性質は
1、ラージパッチに対する予防効果、2、残効性、3、治病効果、4、効果発現の早さ。

つまり、ラージパッチに対する確かな効果でした。

日産化学によるアンケート調査（2013年）

ラージパッチ剤使用時期について教えて下さい。



ラージパッチ剤の処理時期のピークは

春は4月上旬

秋は9月下旬～10月上旬でした。

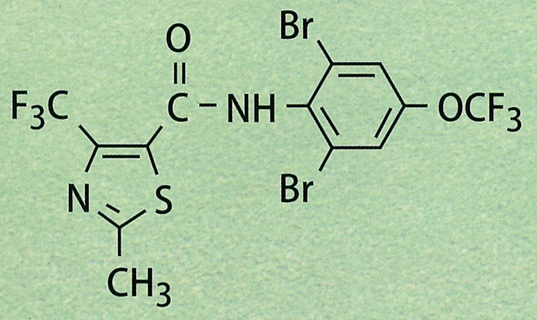
この時期は病害発生前～発生初期に相当します。

イカルガ35SCの使用適期です。

これまでも、そしてこれからも、
イカルガ35SCを上手に使って、
ラージパッチの無い「きれいな芝生」を。

イカルガ 35SC とは。

- ラージパッチ、春はげ症、フェアリーリング病に高い効果を示します。
- 長期にわたり効果を持続します。
- 使いやすいフロアブルタイプの製剤です。
- 芝草に対して薬害の少ない製剤です。



イカルガ 35SC がベントグラスの炭疽病に適用拡大されました。

夏期高温時にも薬害が少ないことが特長です。
炭疽病の他 葉腐病(ブラウンパッチ)、フェアリーリング病にも有効です。

薬量：0.5ml/m^2：400 倍（水量 0.2L/m^2）
ラージパッチの薬量とは異なるのでご注意ください。

イカルガ 35SC は残効性に優れています。

【イカルガ 35SC 残効性試験】　資料提供：緑地科学研究会（2001 年）

散布日：9 月 21 日　調査日：11月28日 (散布 59日後 / 写真)

効果が長く続く理由

有効成分「チフルサミド」が土壌中にとどまるから

1. 水に溶けにくいので流亡しにくい。

水溶解度　1.59ppm（20℃、PH7）

2. 土壌吸着が強いので流亡しにくい。

土壌吸着係数 $K_F{}^{ads}oc$＝470-1000(24℃)

イカルガ 35SC は治病効果も強い。

【イカルガ 35SC 効果試験】　　資料提供：緑地科学研究会（2014 年）

《試験方法》
ラージパッチを４分割して、
それぞれ薬剤を処理。

散布日
5 月 13 日

散布８４日後
8月５日

イカルガ 35SC はラージパッチを消失させ芝生を治癒する効力があります。

だから、秋から春まで、そして春から秋まで。

イカルガ 35SC の処理時期は病害の発生前～発生初期です。

【イカルガ 35SC 処理時期別効果試験】　　資料提供：緑地科学研究会（2001 年）

《防除効果》

発生前処理(9/21)		10月27日	11月15日	11月28日	5月18日	6月6日	6月25日
イカルガ	**0.2ml/ ㎡**	＋＋	＋＋	＋＋	＋＋	＋＋	＋＋
A 剤	0.5ml/ ㎡	＋＋	＋＋	＋＋	＋＋	＋＋	－

発生後処理(10/9)		10月27日	11月15日	11月28日	5月18日	6月6日	6月25日
イカルガ	**0.2ml/ ㎡**	＋＋	＋＋	＋＋	＋＋	＋＋	－
A 剤	0.5ml/ ㎡	＋＋	＋＋	＋＋	－	－	－

イカルガ 35SC は 9 月後半処理で翌年の 6 月までラージパッチの発生を抑えました。イカルガ 35SC は病害の発生前～発生初期に処理することで残効が伸びる傾向がありました。

このことは他のラージパッチ剤も同様でした。

イカルガ 35SC の上手な使い方。

イカルガ 35SC の効果を最大限に発揮させるためには

1. ラージパッチ発生前～発生初期の処理

2. 薬量は 0.2ml 製剤 / ㎡

をお勧めします。

●適用病害虫の範囲及び使用方法

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>チフルザミドを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="4">日本芝</td><td rowspan="2">葉腐病（ラージパッチ）</td><td>333～667倍</td><td>0.1ℓ/㎡</td><td rowspan="8">発病初期</td><td rowspan="10">2回以内</td><td rowspan="10">散　布</td><td rowspan="10">2回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1000～2000倍</td><td rowspan="2">0.3ℓ/㎡</td></tr>
<tr><td>疑似葉腐病（春はげ症）</td></tr>
<tr><td>フェアリーリング病</td><td>3000～4000倍</td><td>1ℓ/㎡</td></tr>
<tr><td rowspan="5">西洋芝（ベントグラス）</td><td>葉腐病（ブラウンパッチ）</td><td>2000倍</td><td rowspan="2">0.5ℓ/㎡</td></tr>
<tr><td rowspan="2">炭疽病</td><td>1000倍</td></tr>
<tr><td>400倍</td><td>0.2ℓ/㎡</td></tr>
<tr><td>フェアリーリング病</td><td>3000～4000倍</td><td>1ℓ/㎡</td></tr>
<tr><td rowspan="2">雪腐小粒菌核病</td><td rowspan="2">1000～2000倍</td><td rowspan="2">0.3ℓ/㎡</td><td rowspan="2">根雪前</td></tr>
<tr><td>西洋芝（ブルーグラス）</td></tr>
</table>

【効果・薬害等の注意】

●本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。

●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。

●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

【安全使用上の注意】

●散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

●公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

日産化学株式会社　Lawn & Specialty Products

お問い合わせ
・北海道/東北/関東/甲信越の皆様は‥‥ 営業本部 緑化営業部 TEL：03-4463-8290 FAX：03-4463-8291
・近畿/中国/四国の皆様は‥‥‥‥‥‥ 大阪オフィス 緑化営業部 TEL：06-6346-7150 FAX：052-452-8621
・東海/北陸の皆様は‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 名古屋オフィス 緑化営業部 TEL：052-452-8614 FAX：06-6346-7230
・九州/沖縄の皆様は‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 福岡オフィス 緑化営業部 TEL：092-473-3891 FAX：092-473-3891